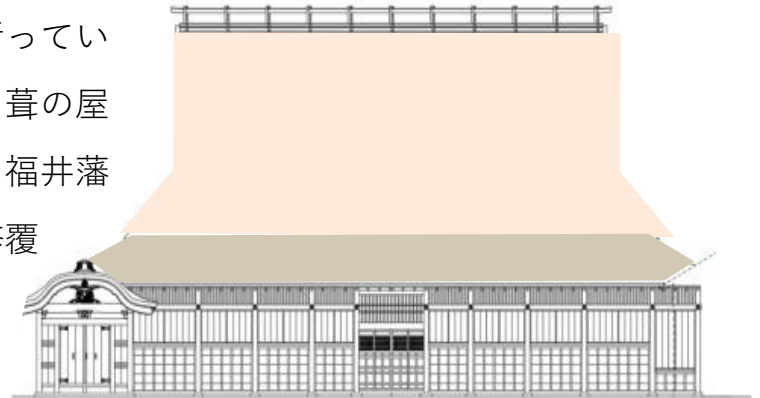


# 重要文化財大安寺本堂ほか7棟 保存修理事業の経過報告

## 引き続き本堂の組立工事が進んでいます

本堂では数年かけての組立工事を行っている最中です。現在は玄関や周囲こけら葺の屋根下地の組立、耐震補強工事のほか、福井藩御用絵師による絵が描かれた建具の修覆も始まりました。



完成予定の本堂

## 屋根の形状を復原するために



本堂の屋根は明治時代以降瓦葺となっていました。今回の修理工事では建立当初と同じ形に復原することになっています。屋根の上部は茅葺、下部周囲や玄関はこけら葺になります。

現在は下部の茅負かやおいという軒先の反り具合が決まる部材を取り付けています。大きな屋根の形に影響する大事な作業ですが、現状には残っていなかった箇所なので慎重に進めています。

## 玄関の組立も進んでいます

本堂は柱だけを残して解体していましたが、玄関部分は柱も含めてすべて解体して完了しました。揚屋工事が終わり、玄関も組立工事が始まっています。現在は柱を立てて棟木までの組立が完了したところです。これから屋根の組立に入りますが、玄関も本堂下部と同じくこけら葺きの屋根になります。

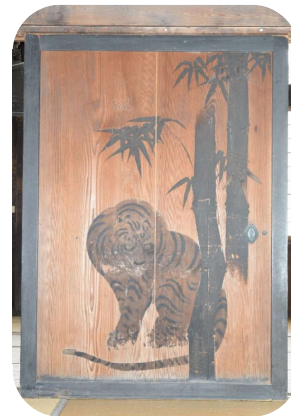


## 建具の修覆が始まります

本堂の建具には建立時に福井藩御用絵師の狩野元昭の絵が描かれているものがあります。建立から約360年間に3度ほど修覆が行われましたが今回の修理工事でも専門の職人による本格的な修覆を行います。まずは修覆に必要な調査を行っています。



### 狩野元昭による絵が描かれた建具



狩野元昭は光通の父である第3代福井藩藩主・松平忠昌に召し抱えられた御用絵師・狩野了之の子。江戸で奥絵師・狩野安信に学び、父没後の万治3年に福井藩御用絵師となった。

## 耐震補強工事も進んでいます

天井裏には水平ブレースとよばれる鋼材が取り付けられました。これを取り付けることで地震の横揺れの衝撃に強くなります。



## 今後の工事予定

引き続き本堂の組立工事を進めていきます。今後は小屋組とよぶ屋根本体の構造体組立に進んでいきます。



### 修理工事の様子は随時情報発信中です

これまでの工事経過はこの季刊報告書の他にも動画やパンフレットなど、様々な媒体で情報発信しています。ぜひご覧ください。



YouTube  
年度ごとのまとめ動画

隔年発行のタブロイド  
無料配布中



設計監理：公益財団法人文化財建造物保存技術協会（東京都荒川区）  
工事請負：松浦建設株式会社（石川県能美市）